

CSR活動方針（2026年度）

上毛の山々に囲まれた緑の多い地域に立地している当社は、化学を通じ社会の発展に貢献し、社会から信頼され必要とされる企業になることを経営理念としています。

そのため安全、環境、品質とコンプライアンスの確保を最重要基盤におき、持続的成長の実現に向け、事業活動を推進していきます。

マネジメントシステムとしては、ISO9001とISO14001をもとに、PDCAサイクルを廻し、目標設定・定期的見直し・改善を継続的に推進していきます。

I 環境保全の方針と目標

方針：省エネ、省資源、廃棄物削減、有害物質・温室効果ガスの排出削減、水資源の保全に努め、環境データ管理体制を整え、事業活動による環境影響を最小にする。安中工場においては環境影響の把握に努める。

- | | |
|-------------------------|------------|
| 目標：(1)環境法令順守、環境不適合発生0件 | ：環境不適合発生件数 |
| (2)気候変動への新たな対応計画の立案 | |
| ①製造エネルギーの削減と把握（前年比1%以下） | ：エネルギー原単位 |
| ②温室効果ガス排出量の把握 | ：Scope 1,2 |
| ③フロンガス管理 | ：フロン漏えい量 |
| ④再生可能エネルギー導入検討 | ：取り組み状況 |
| (3)水資源の保全 | |
| ①排水の水質維持 | ：排水基準 |
| ②水の使用量の把握 | ：水使用量原単位 |
| (4)廃棄物の削減 | |
| ①最終埋立処分量の把握 | ：最終埋立処分量 |
| ②ゼロエミッションの継続（10%以下） | ：ゼロエミ比率 |

II 保安防災・BCPの方針と目標

方針：重大な設備災害を防止し安全で安定した生産活動を推進する。

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 目標：(1)リスク評価・防止対策実施で重大設備災害ゼロ達成 | ：重大設備災害件数 |
| (2)PDCAサイクルによるBCPの維持改善 | ：BCPの見直しと訓練実施 |

III 労働安全衛生の方針と目標

方針：安全、健康で活力ある働き方を感じることができる職場づくりを推進する。

- | | |
|--|---------|
| 目標：(1)全員参加で事故防止、災害ゼロ達成 | ：災害件数 |
| (2)フォローアップによる健康情報の理解と活用能力の向上 | ：取り組み状況 |
| (3)KY・ヒヤリハット、リスクアセスメントによる、潜在的危険源の継続的改善（5件以上） | ：改善件数 |

IV 品質保証・製品安全の方針と目標

方針：顧客満足・社会からの信頼性向上への取り組み強化と製品保証、製品安全及び物流安全を確保する。

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 目標：(1)自社起因の製品クレーム削減（対前年度20%減（5件以下）） | ：製品クレーム件数 |
| (2)ヒューマンエラー起因の不適合の削減（1件以下） | ：不適合件数 |
| (3)設備の改良、作業の機械化による品質の安定・維持 | ：妥当性評価 |
| (4)法規制に基づき適正な化学物質管理で違反件数ゼロ | ：管理状況・教育状況 |
| (5)有害物質削減 | ：有害物質含有調査 |

V 社会との対話・コミュニティ参画・コンプライアンス

方針：地域社会の発展を応援し、持続可能な社会の実現に貢献する。

- | | |
|------------------------------|---------|
| 目標：①近隣住民との交流の推進、及び社会貢献活動への参加 | ：取り組み状況 |
| ②法のおよびその他要求事項の逸脱ゼロ | ：逸脱件数 |

VI 人権・労働慣行

方針：人権を尊重し、公正で安全な働き方を実現するために多様性を尊重しながら労働環境改善に努める。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 目標：(1)人材の多様化 | ：取り組み状況 |
| (2)健康・健全な職場環境の維持 | ：時間外労働時間、
有給休暇取得状況 |
| (3)人権侵害の未然防止 | ：取り組み状況 |

VII 共通項目

5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の推進と教育の充実

CSR方針は、全従業員に周知し、外部からの要求により開示します。

2026年4月1日

CSR推進会議 議長
代表取締役 社長

横田 因